

令和 7 年度予算編成方針

令和 6 年9月 酒田市長

酒田市は、職場・地域における担い手不足、小売店の閉鎖による買物弱者の増加、保育園・学校の入園者・入学者の減少など、人口減少を起因とする様々な問題に直面しています。令和6年の本市の出生数は令和5年の431人から大幅に減ると予測しており、様々な問題の原因である人口減少は加速しています。地方都市における人口減少の主因は、若者、特に女性が仕事の選択肢とジェンダー平等な風土を求めて地方都市を放れていくことであり、人口減少を抑制し本市の様々な問題を解決するためには、若者・女性の所得向上と、性別・年齢・国籍・障がいの有無にかかわらず誰もが社会参画できる環境整備が必要です。

また、地球温暖化・気候変動も本市に確実に影響を与えています。農産物や水産物への影響、日常生活における熱中症対策の必要性に加え、本年7月25日にはこれまでに経験したことのない集中豪雨が本市に甚大な被害を与えました。豪雨災害からの復旧・復興は本市の最重要課題であり、全ての市民が安心・安全に暮らせるまちづくりの徹底があらゆる面で求められています。

人口減少、地球温暖化・気候変動などが地域経済に影響を及ぼし、本市を取り巻く環境は大きく変化しています。今、本市が直面している様々な問題を解決していくためには、デジタル化やローカルSDGsなど令和の時代の新たな技術・発想を積極的に取り入れ、生かしていくことが重要です。

そこで、酒田市総合計画後期計画のめざすまちの姿を実現するための令和7年度の施政方針として「一人ひとりが豊かに、幸せに、安心・安全に暮らせるまちを創る」を掲げます。そして、次の4項目を重点化する取組みとし、令和7年度の予算を編成します。

令和 7 年度酒田市施政方針

❖一人ひとりが豊かに、幸せに、安心・安全に暮らせるまちを創る

<重点化する取組み>

- I 豊かに暮らす ~市民の所得向上と若者・女性の定住促進~
- II 幸せに暮らす ~一人ひとりの活躍が大切にされる共生社会の実現~
- III 安心・安全に暮らす ~災害からの復旧・復興と安心・安全のまちづくり~
- IV 令和の時代に暮らす ~人口減少・気候変動等に対応したまちづくりの発想~